

361人カクレーン等を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	10 ～ 11	労働者派遣先である工場内で、台車にて銅版（51cm×34cm×2mm、重さ1.5kg/1枚）×50枚（約75kg）を運んでいるとき、通常より多い枚数を載せており、また、慌てていたため、勾配になっている場所で、台車ごと銅版が倒れてきて左膝を負傷した。	57	7	40301	1～ 9人
2	2018	1	14 ～ 15	事業主の指揮命令により、自社工場の床板撤去作業をしていた。作業用定盤（鉄製約1.5メートル×約6メートル×約1.9センチ、重さ約1.5トン）の床の撤去作業中に固定アンカーを1本切り忘れており、そのまま爪ジャッキではがしたため、アンカーが抜けた勢いで作業用定盤が30センチほど跳ね上がり、爪ジャッキの上に載せた手に落ちてきて怪我をした。	56	4	11209	1～ 9人
3	2018	3	8 ～ 9	解碎プラントにてトグルプレート位置のはまり具合の調整をしているとき、3/4tレバーブロック、玉掛ワイヤー、ベルトコンベアー上の狭い場所でレバーブロックのフック掛けミスをしフックが外れトグルプレートが落下し左脚元に当たった。	62	4	30302	1～ 9人
4	2018	3	15 ～ 16	抄紙現場で、元越こしモーターの吊り出し中、チェーンブロックを掛けていた鉄筋が落下し、右肩、右腕に当たった。	44	4	10609	50 ～ 99 人
5	2018	6	11 ～	訪問介護サービス中、客宅から次の客宅に自転車で向かう途中、雨のためレインコートとサンバイザーを着用しており、サンバイザー	47	2	130201	30 ～

			12	について雨粒を払おうとして片手運転になったとき、体勢を崩して 自転車から転倒し、左手を地面につき負傷した。				49 人
6	2018	6	7 8	貨物仕分け上屋で、貨物の入った台車を押して移動していたとき、 同じく後方から移動してきた台車の下部に右足踵が接触し、裂傷を 負った。	19	6	40301	50 ～ 99 人
7	2018	6	13 14	先行艀装ヤードで、ボイラー排気管防熱板金作業中、油圧ジャッキ で中心を上げて盤木を付け替えようとし、盤木を移動させたときに ジャッキが外れ、左腕が盤木と部材に挟まれて倒れた。	57	7	11501	10 ～ 29 人
8	2018	7	14 15	船上にて巻いた網を解く作業をしていたところ、誤ってロープリー ルのレバーを巻く状態へ入れてしまい、ロープリールと網の間に体 が挟まり、直ぐにレバーを止める方に戻したが、間に合わず、肋骨 が圧迫され負傷した。	60	7	70201	1～ 9人
9	2018	7	13 14	使用していた車用ジャッキを片付けようと、入口にある段差を越え ようとした際、重みで勢いあまって手が抜け、後ろ向きに臀部から 転倒し、左坐骨剥離骨折及び左手関節捻挫を負った。	67	2	110101	300 ～ 499 人
10	2018	8	10 11	冷凍竹輪を包丁で横半分に切る作業を行っていたとき、左手小指が 包丁の軌道上にあり、小指と刃が接触し、切創を負った。	42	8	80209	1～ 9人
11	2018	8	15 16	ヤード内でコンテナをジャッキアップして水平を取るため調整中 に、ジャッキが下がってその下方に指を挟んだ。	46	7	80209	1～ 9人
12	2018	9	8 9	積み込み作業中、荷物の詰め替えをするため一度積み込んだカゴ台 車をゲートまで運んだ際、バランスを崩しカゴ台車ごと転倒して、 右足を挟んで負傷した。	46	2	40301	100 ～ 299 人

13	2018	9	14 15	環境機械の点検作業中、部品交換のためペットボトル圧縮梱包機の一部をジャッキと金属パイプを使用して上昇作業をしていたところ、土台となっていた木板が圧潰されて傾いたためジャッキと金属パイプが倒れ、その勢いで土台の木板が飛んできて口元を強打した。	40	4	30309	1～ 9人
14	2018	9	20 21	店内バックヤードの坂道になっている場所で、配送の作業を行っているとき、段差に気付かず、ロールボックスが倒れてきて左膝を打撲した。	19	5	140209	30 ～ 49 人
15	2018	9	8 9	積み込み作業中、荷物の詰め替えをするため一度積み込んだカゴ台車をゲートまで運んだ際、バランスを崩しカゴ台車ごと転倒して、右足を挟んで負傷した。	46	2	40301	100 ～ 299 人
16	2018	9	14 15	環境機械の点検作業中、部品交換のためペットボトル圧縮梱包機の一部をジャッキと金属パイプを使用して上昇作業をしていたところ、土台となっていた木板が圧潰されて傾いたためジャッキと金属パイプが倒れ、その勢いで土台の木板が飛んできて口元を強打した。	40	4	30309	1～ 9人
17	2018	9	20 21	店内バックヤードの坂道になっている場所で、配送の作業を行っているとき、段差に気付かず、ロールボックスが倒れてきて左膝を打撲した。	19	5	140209	30 ～ 49 人
18	2018	9	8 9	積み込み作業中、荷物の詰め替えをするため一度積み込んだカゴ台車をゲートまで運んだ際、バランスを崩しカゴ台車ごと転倒して、右足を挟んで負傷した。	46	2	40301	100 ～ 299 人
				環境機械の点検作業中、部品交換のためペットボトル圧縮梱包機の一部をジャッキと金属パイプを使用して上昇作業をしていたところ、土台となっていた木板が圧潰されて傾いたためジャッキと金属パイプが倒れ、その勢いで土台の木板が飛んできて口元を強打した。				

19	2018	9	14 ～ 15	一部をジャッキと金属パイプを使用して上昇作業をしていたところ、土台となっていた木板が圧潰されて傾いたためジャッキと金属パイプが倒れ、その勢いで土台の木板が飛んできて口元を強打した。	40	4	30309	1～ 9人
20	2018	9	20 ～ 21	店内バックヤードの坂道になっている場所で、配送の作業を行っているとき、段差に気付かず、ロールボックスが倒れてきて左膝を打撲した。	19	5	140209	30 ～ 49 人
21	2018	9	8 ～ 9	積み込み作業中、荷物の詰め替えをするため一度積み込んだカゴ台車をゲートまで運んだ際、バランスを崩しカゴ台車ごと転倒して、右足を挟んで負傷した。	46	2	40301	100 ～ 299 人
22	2018	9	14 ～ 15	環境機械の点検作業中、部品交換のためペットボトル圧縮梱包機の一部をジャッキと金属パイプを使用して上昇作業をしていたところ、土台となっていた木板が圧潰されて傾いたためジャッキと金属パイプが倒れ、その勢いで土台の木板が飛んできて口元を強打した。	40	4	30309	1～ 9人
23	2018	9	20 ～ 21	店内バックヤードの坂道になっている場所で、配送の作業を行っているとき、段差に気付かず、ロールボックスが倒れてきて左膝を打撲した。	19	5	140209	30 ～ 49 人
24	2018	10	14 ～ 15	バックヤードから商品（詰め替え用洗剤）を台車に積み込み、被災者が台車を前で引っ張り、他作業者が後ろから台車を押して売場まで移動中、台車が勢いよく動いた際、台車の車輪で被災者の右足が轢かれ、右第2趾を骨折した。	55	7	170101	100 ～ 299 人
25	2018	10	14 ～	プレス棟1階でコイル材の引き取りが終わり、被災者が単独でコイル材用レーンを10tクレーンで吊り上げてエリアに戻そうとした。その際、レーンを跨いだ状態で後ろに引っ張ったところ、転倒して	59	2	11301	100 ～ 299

			15	腰を痛めた。					人
26	2018	10	8 ～ 9	荷受場外のカートラック置き場で、空カートラックを片付けていたとき、地面の傾斜で勢いがついてカートが動いてしまい、カートの間に左手小指を挟んで骨折した。	36	7	80201	300 ～ 499	人
27	2018	11	19 ～ 20	店内青果作業場で、ゴミを一纏めにして捨てるため、畳んであったゴミ台車を広げようとしたところ、底板と車輪フックの間に左手薬指を挟んだ。	30	7	80201	50 ～ 99	人
28	2018	11	8 ～ 9	傾斜地で伐採作業中、2台の重機を使用して、上部と下部に分かれて伐採木を集積していた。下部の重機に別作業者が乗り、ワイヤーを切り株に結び、滑車を経由して被災者が乗る上部の重機に接続した。重機2台でワイヤーを引っ張り、切り株を持ち上げようとしたとき、滑車の留め金が外れて被災者に当たり負傷した。	64	4	60201	1～ 9人	
29	2018	11	20 ～ 21	バックルームから売場へ卵用インナーロールを移動していたとき、インナーロールが倒れて右足親指に当たった。	15	6	80201	—	
30	2018	12	17 ～ 18	荷卸先の駐車場で商品を納入する空箱を両手で持ち、足下をよく確認せずにトラックの荷台から降りたところ、空箱を運ぶ台車が置いてあった。そこに足をついて、バランスを崩して転倒し、左足の甲を骨折した。	64	3	10109	50 ～ 99	人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。